

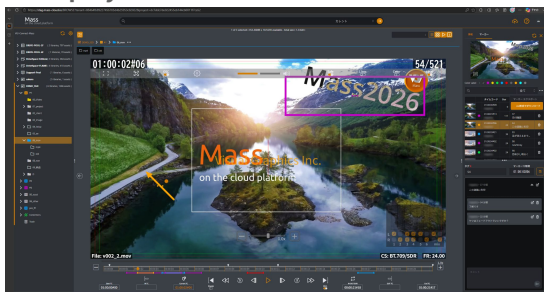


Massのマーカーリストをダウンロードしてシーケンスへインポートする方法【DaVinci Resolve編】



本資料では、「Mass」で登録したマーカーリスト（通常マーカー・付箋マーカー）をCSV形式でダウンロードし、DaVinci Resolveのシーケンスへ自動でインポートする手順を解説します。DaVinci Resolve単体ではCSVの直接読み込みができませんが、専用スクリプトを使用することで、タイムコードのズレなく一括反映が可能になります。修正指示の確認作業および動画編集の効率化にお役立てください。

Mass player画面



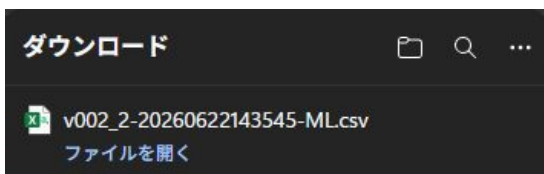
【STEP1】 マーカーリストのダウンロード

- DaVinci Resolveから書き出したファイルをMassのプレイヤーで表示します。
- タイムライン上に通常マーカーおよび付箋マーカーが打たれています。

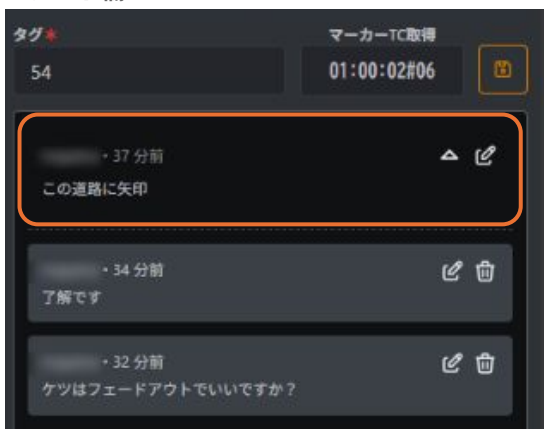
マーカーリストをCSV形式でダウンロード



- マーカーリストの右上にある「…」のアイコンをクリックします。
- メニューから「CSV形式でダウンロード」を選択します。
- ファイルはローカルのダウンロードフォルダへ保存されます。



コメント欄

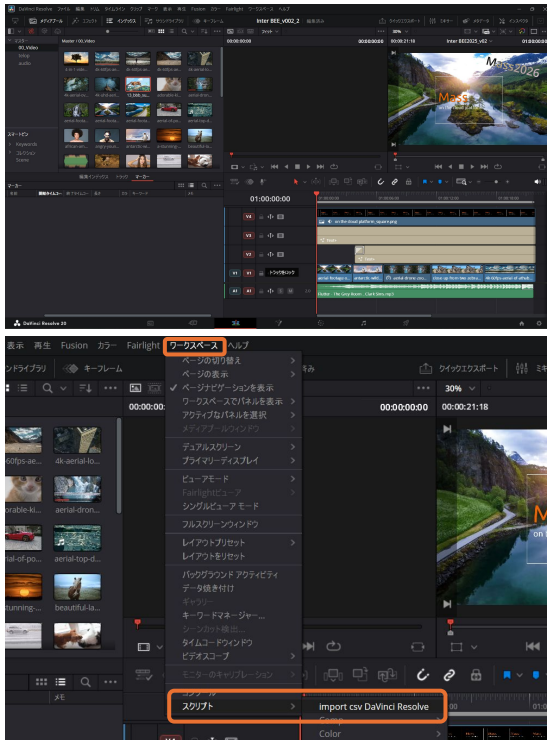


エクスポートしたCSVファイル

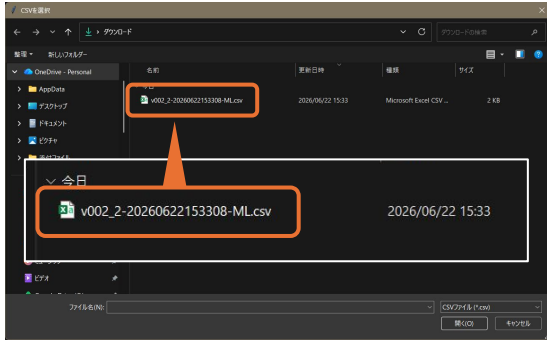
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	colorLabel	tag	timeCode	duration	type	color	comment	userName
2	None	9	01:00:00#09	0	Marker	0 0 0	newMarker	
3	Please review	37	01:00:01#13	117	Sticky	186 0 188	日付確認	
4	Orange	54	01:00:02#06	24	Sticky	255 165 0	この道路に矢印	
5	Approved	93	01:00:03#21	34	Sticky	17 146 254	足が消えるまで画つめてください	
6	Cyan	98	01:00:04#02	24	Sticky	0 255 255	ペンギン明るく	
7	In-progress	98	01:00:04#02	24	Sticky	33 232 57	色味少し明るく	
8	Please review	98	01:00:04#02	24	Sticky	186 0 188	newSticky	
9	None	197	01:00:08#05	0	Marker	0 0 0	修正指示	
10	Reject	228	01:00:09#12	24	Sticky	250 0 8	newSticky	

- コメントが複数個書かれている場合、一番最初のコメントがCSVのリストに出力されます。
- 2個目以降の追加コメントはCSVのリストには反映されません。

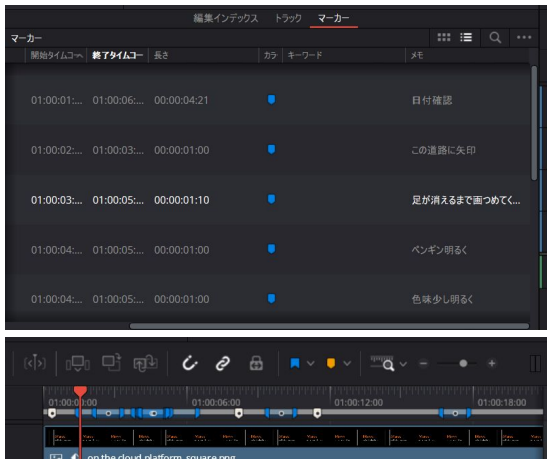
DaVinci Resolve画面



ダイアログ画面画面



マーカーの反映



【STEP2】 DaVinci Resolveでのスクリプト実行

- 書き出し元となったDaVinci Resolveプロジェクトを開き、該当シーケンスをタイムラインに表示します。
- 上部ツールバーから「ワークスペース」>「スクリプト」>を選択。
- 「import csv DaVinci Resolve」をクリックして起動。



Tips: DaVinci ResolveでCSVファイルを直接読み込むことができないため「import csv DaVinci Resolve.py」というスクリプトを作成しマーカーを反映させます。
(保存先: C:\ProgramData\Blackmagic Design\DaVinci Resolve\Fusion\Scripts\Utility)
※スクリプト(.py)の実行には、お使いのPCにPython(3.x系)がインストールされている必要があります。

【STEP3】 ダウンロードしたCSVを選択

- スクリプトを実行すると「CSVを選択」ダイアログが立ち上がります。
- MassからダウンロードしたCSVファイルを選択します。
- 「開く」ボタンをクリックして読み込みを開始します。

【STEP4】 シーケンスへのマーカー反映結果

- 通常マーカー：「白」としてシーケンス上に反映
- 付箋マーカー：「青」としてシーケンス上に反映
- 同じタイムコードに複数のマーカーが存在する場合
2個目以降のマーカーは1フレーム(1f)ずらした状態で反映されます。

まとめ

MassのCSVのマーカーデータをDaVinci Resolveへインポートする自動化ワークフローでした。
今回は24fps(ドロップフレーム)を例に挙げましたが、その他のフレームレートでズレることなく反映されます。
皆様の作業効率アップに少しでもお役に立てますように！